

【enPit とは？】

正式名称は、「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成 Education Network for Practical Information Technologies」であり、enPit はその略称です。2012 年度から開始した文部科学省支援の教育プロジェクトで、「実践的な」情報技術の教育プログラムを全国の大学に展開するプロジェクトです。日本が強化していきたい。AI・ビッグデータ、セキュリティ、組込みシステム、ビジネスシステムデザインの4分野ごとに、大学や企業が協力して教育プログラムを実践しています。医療情報学科は参加校として、ビッグデータ・AI、セキュリティの2分野に参加しています。

【enPit AI・ビッグデータ】

医療情報学科の参加している enPit の AI・ビッグデータ分野では、ビッグデータ処理技術、人工知能技術、クラウド技術などを用いて、新しいビジネスや価値を創出するといった社会の具体的な課題を解決できる人材の育成を目的としています。連携企業はこちらの URL から見るができます

(<https://aibic.enpit.jp/partners>)。医療情報学科は、東京大学、東京工業大学、お茶の水大学、電気通信大学、千葉大学等と3泊4日の東日本合宿に参加しています。2019年の夏合宿では、本学科3年の室田大輝君が MVP 賞を受賞しました。



2019年夏合宿 MVP 賞を受賞した本学の室田さん

【enPit セキュリティ】

医療情報学科では、enPit のセキュリティ分野にも参加しています。ここではセキュリティ分野の人材育成を目標として、情報セキュリティに関連する先進技術の知識に加え、それらを応用できる実践的能力の開発を目指す教育を実施しています。14の大学が協力し、毎週の遠隔講義と、夏・冬休みに PBL 演習の合宿が行われています。参加大学はこちらの URL から見るができます (<https://www.seccap.jp/basic/university.html>)。

医療情報学科は東北大学と慶応義塾大学からの遠隔講義を受講し、夏休みに慶応義塾大学での合宿に参加しています。



2018年夏合宿の PBL 演習の風景